

レーベルエクスプレスと EXCEL ファイルのリンク手順

レーベルエクスプレスと EXCEL ファイルのリンク手順について説明します。

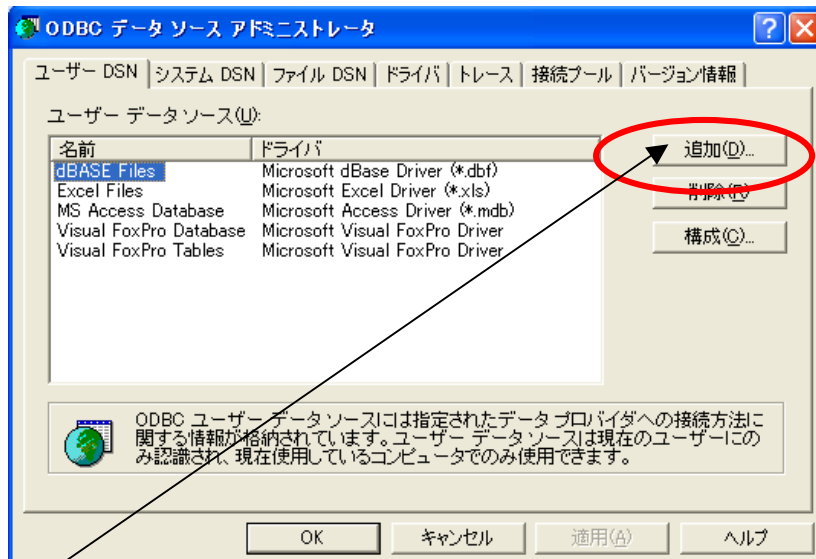
EXCEL ファイルは C:\¥winle¥Book1.xls を使用します。

<EXCEL ファイル内容>

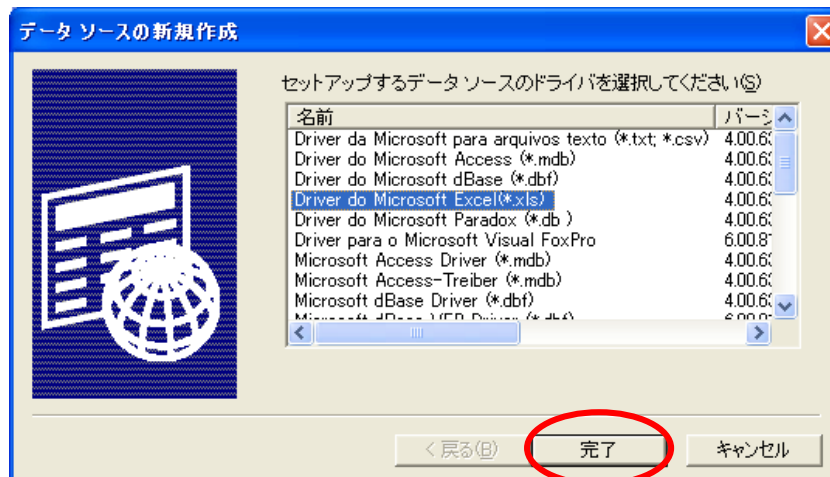
数量	LOT	FMTCOUNT
5	10-001	0
3.5	10-001	0
10	10-002	0
20	10-003	2

1 EXCEL ファイルへリンクする前準備として ODBC ドライバーを作成します。

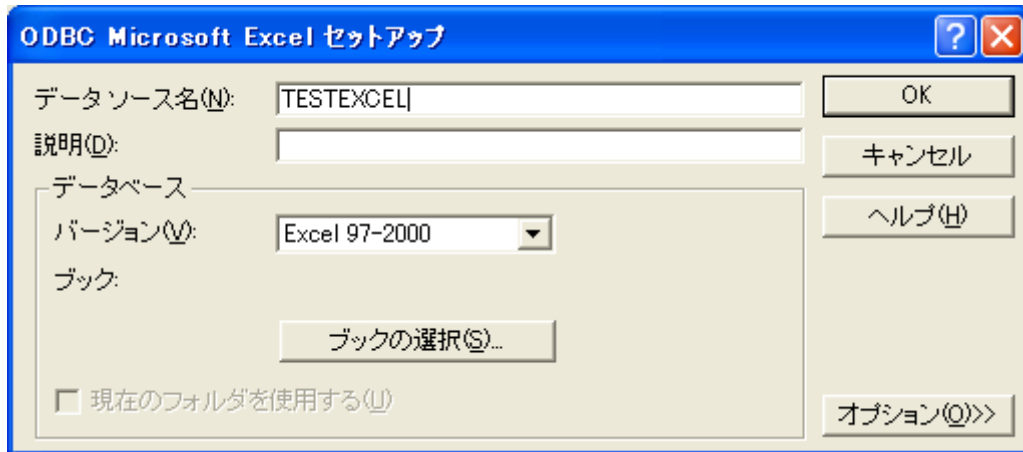
- ① 「スタート」→「コントロールパネル」→「管理ツール」→「データ ソース (ODBC)」を選択すると以下の画面が表示されます。



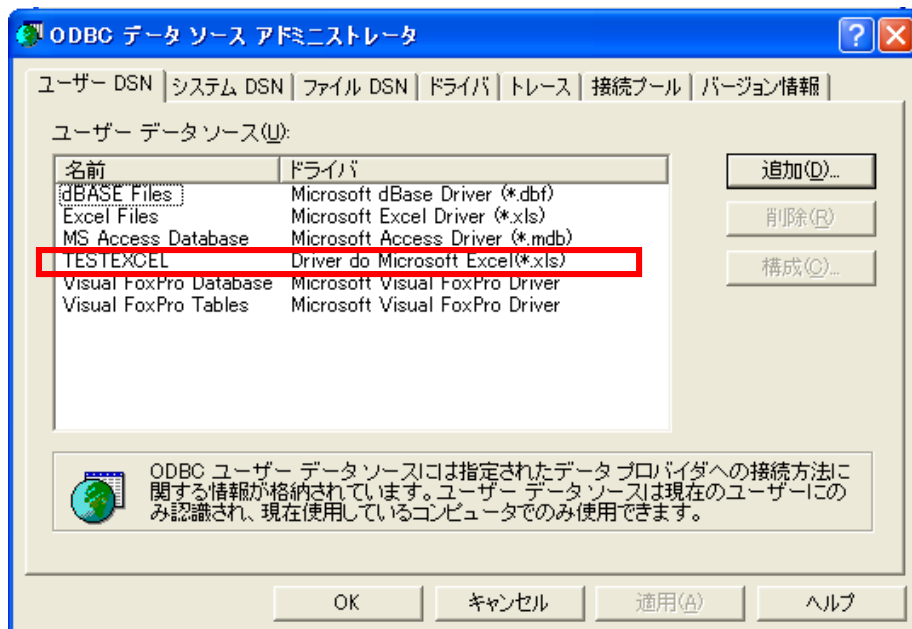
- ② 追加ボタンをクリックして以下の画面を表示して下さい。



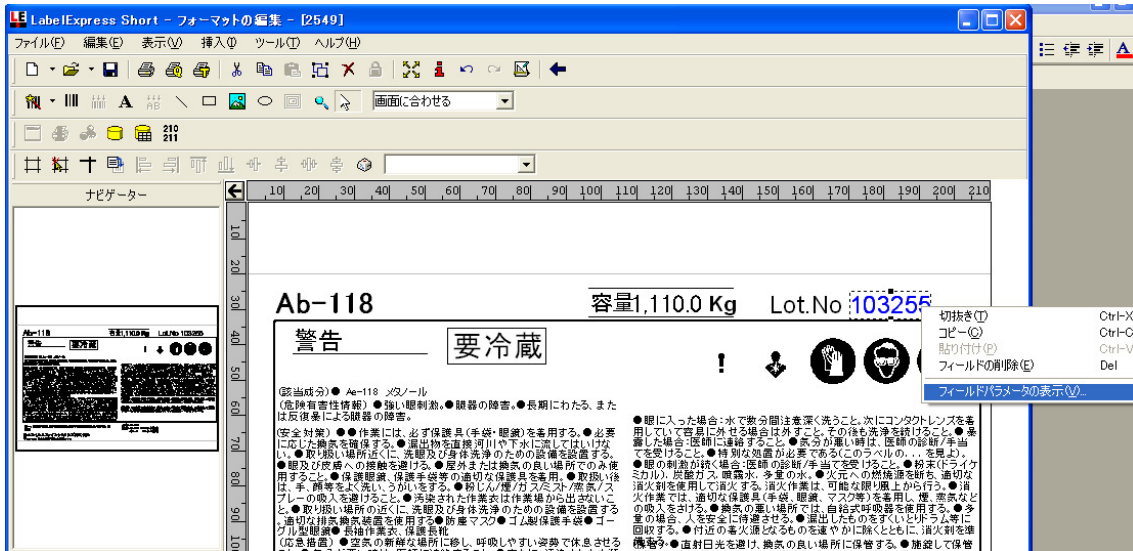
- ③ 「Driver do Microsoft Excel (*.xls)」を選択して「完了」ボタンをクリックします。
- ④ ③で完了ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。



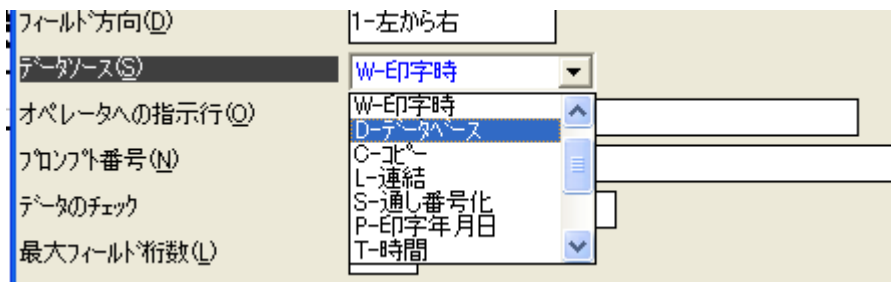
- ⑤ データソース名に任意の名前を入力します。(今回は TESTEXCEL)
- ⑥ 「ブックの選択」をクリックして「C:\¥winle¥Book1.xls」を選択して下さい。
- ⑦ 「OK」ボタンをクリックします。
- ⑧ TESTEXCEL が追加されているのが確認出来れば、「OK」ボタンをクリックして下さい。



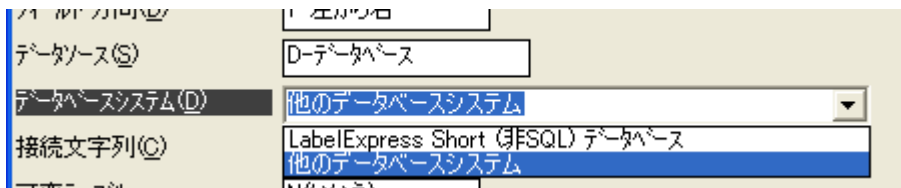
- 2 レーベルエクスプレスの編集画面を開き、リンクするフィールドのパラメータを表示します。



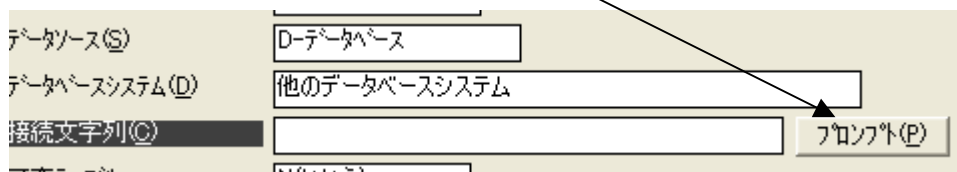
- 3 フィールドパラメータの「データソース」で「D-データベース」を選択します。



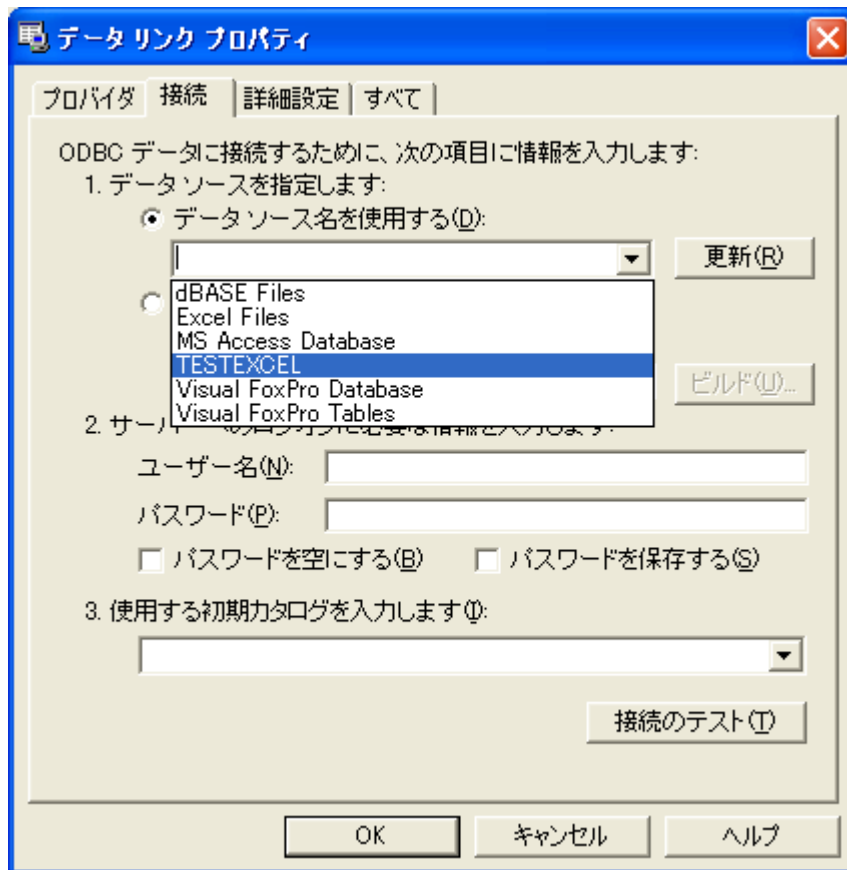
- 4 次に「他のデータベースシステム」を選択します。



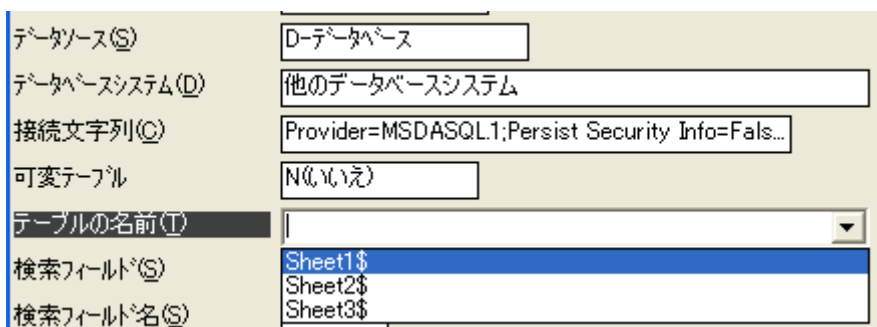
- 5 「接続文字列」をクリックすると「プロンプト」ボタンが表示されるので、クリックします。



- 6 1で作成した ODBC ドライバーを選択して「OK」ボタンをクリックして下さい。



- 7 「テーブルの名前」でシートを選択します。



- 8 検索キーにするフィールドを選択します。

データベース(S)	D-データベース
データベースシステム(D)	他のデータベースシステム
接続文字列(C)	Provider=MSDASQL.1;Persist Se
可変テーブル	N(,)(,)(え)
テーブルの名前(I)	Sheet1\$
検索フィールド(S)	1
検索フィールド名(S)	LOT
オペレータへの指示行(O)	数量
データフィールド名(D)	LOT FMTCOUNT

9 「オペレータの指示行」で任意の説明文を入力して下さい。

データベース(S)	D-データベース
データベースシステム(D)	他のデータベースシステム
接続文字列(C)	Provider=MSDASQL.1;Persist Security Info=Fals...
可変テーブル	N(,)(,)(え)
テーブルの名前(I)	Sheet1\$
検索フィールド(S)	1
検索フィールド名(S)	LOT
オペレータへの指示行(O)	LOTを選択して下さい。

10 「データフィールド名」にリンクするフィールドを選択して下さい。

データベース(S)	D-データベース
データベースシステム(D)	他のデータベースシステム
接続文字列(C)	Provider=MSDASQL.1;Persist Security Info=Fals...
可変テーブル	N(,)(,)(え)
テーブルの名前(I)	Sheet1\$
検索フィールド(S)	1
検索フィールド名(S)	LOT
オペレータへの指示行(O)	LOTを選択して下さい。
データフィールド名(D)	↓
最大フィールド長(M)	数量
標準フィールド長(I)	LOT FMTCOUNT

11 「標準フィールド長」に桁数を入力します。ここに入力した数値分、画面上に「？」が表示されます。(実際の印字には「？」は印字されません)

最大フィールド長(M)	0
標準フィールド長(I)	4

[フォーマット上の表示]



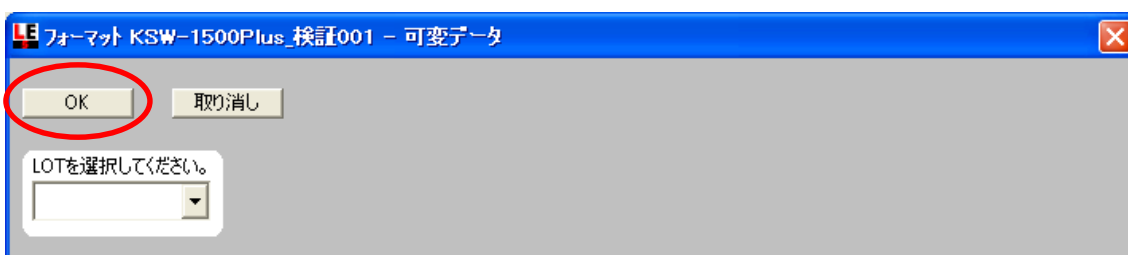
????

<印刷手順について>

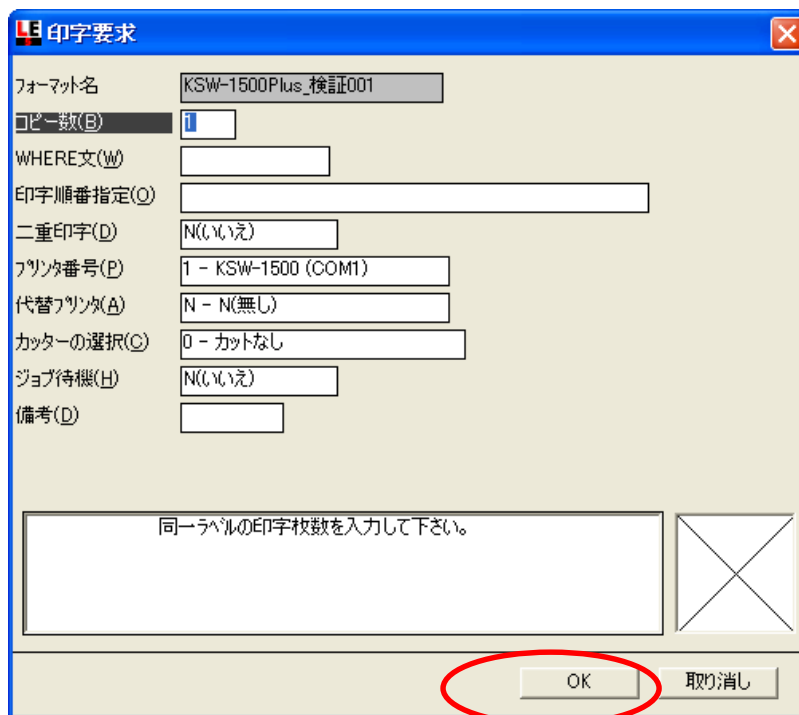
1. Label Express のフォーマットを開き、左上のアイコン列にある「ラベル、タグの印字 (Ctrl-P)」ボタンを押します。



2. コンボボックスが空白のまま OK を押します。



3. 「印字要求」の画面が表示されますので、そのまま「印刷」ボタンを押します。



4. 「FMTCOUNT」で数値を入れたデータのみ印字されます。

以上